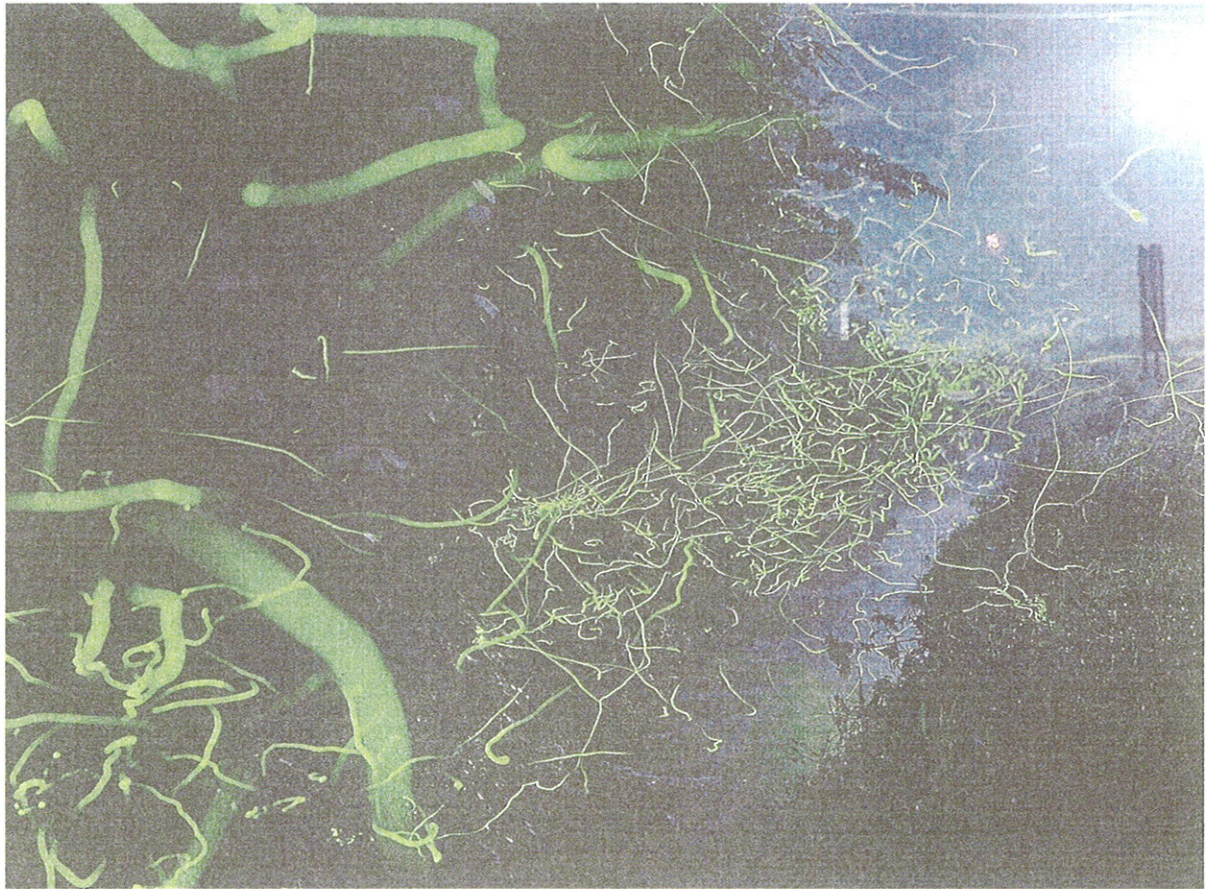


暗闇の中を幻想的に舞う蛍の光跡115日、信濃町戸草



蛍の乱舞 星空と共演

信濃町戸草地区の芋川用水で夜間、蛍が乱舞している。観測を続けている野尻湖ナウマンゾウ博物館の中村由克学芸員(57)によると、5日夜は用水の上流部でゲンジボタル300匹を確認。暗闇の中を舞い上がり、明滅を繰り返していた。蛍は10日前後まで見られる

という。

用水では、ゲンジボタルとヘイケボタルが数多く見られたが、2000～03年の用水改修工事で激減。06年には上流部で11匹しか確認できない状況だった。この間、住民有志らが環境整備や保護活動に取り組み、最近は数多く見られ

るようになった。中村学芸員は「上流部は用水の底をコンクリートで固めず、土のまま残した。最低限、土を残すことが良いのだと証明できた」としている。

両親と訪れた同町野尻の丸山夏奈さん(9)＝野尻湖小4年＝は「きれい」。妹の夏歩さん(7)＝同1年＝も「いっぱい見えた」と笑顔。瞬く星空と蛍の光と一緒に楽しんでた。

信濃町・芋川用水